

## 低価格PICライター共通説明書

# PICライター 完成品

### 【概要】

アマチュアが使用するのに便利な12C508、12C509、16F84が書ける、低価格PICライターです。書き込みソフトウェアはインターネット上からダウンロードしていただきます。

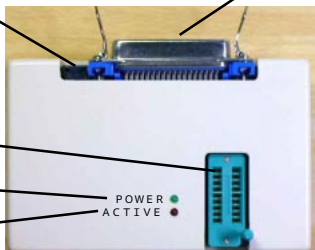
電源 DC15～18V  
2.1 センター+

市販のプリンターケーブルを接続します。  
(ケーブルは別途ご購入ください。)

1番ピンをこの位置に合わせる

電源表示ランプ

動作中ランプ



ACTIVEランプ点灯中は絶対にICの抜き差しをしないでください。

説明書を共通化している関係上ICソケット及びケースの有無はご購入商品により異なります

12C508、12C509(窓付きを含む)は写真のように1番ピンを合わせて差し込みます



### 【使い方】

パソコンにソフトウェアをインストールします。ソフトウェアは

[http://www.ops.dti.ne.jp/~ishijima/sei/picww/picww\\_index.htm](http://www.ops.dti.ne.jp/~ishijima/sei/picww/picww_index.htm)

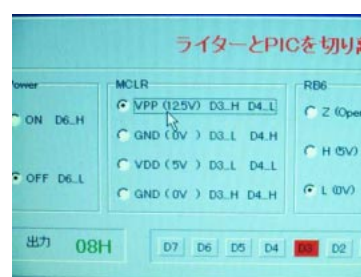
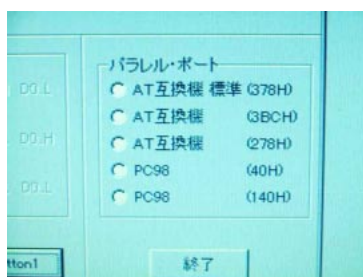
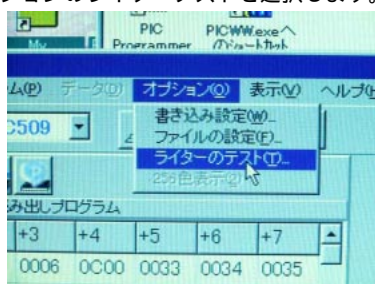
でダウンロードしてください。ソフトウェアの使い方もここに記載されています。

ソフトウェアのインストールが完了したらライターを接続して、接続ポートの設定をします。

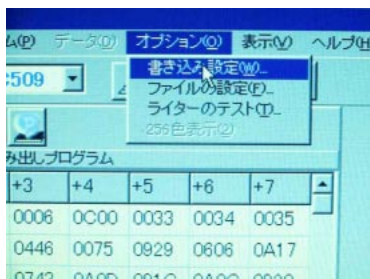
ライターの電源をいれ、ソフトウェアを起動します。ICはソケットにささないでオプションのライターテストを選択します。

一旦パラレルポートをどれか選択します。DOS/VパソコンはAT互換機の3つの内の一つを選択します。

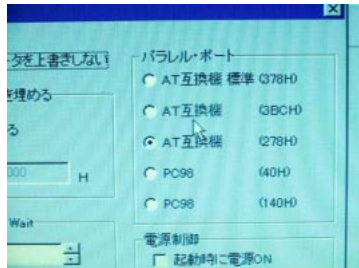
次にMCLRのVPP(12.5V)を選択します。この状態でパラレルポートを変更してライターのACTIVEランプのつくポートを覚えておきます。



次にオプションの書き込み設定を選択します。



先ほどのACTIVEランプのつくポートを選択して、ポートの設定は終了です。



### \*\*\* 注意事項 \*\*\*

ここでのポート設定は別のソフトウェアのインストール等によってウィンドウズ内で外部物理ポートとポートアドレスの関係が入れ替わることがあるようです。そのため、設定したポートで使用できなくなることがあります。この時はこのテストをしてみて、新たな動作するポートアドレスに設定し直してください。

本セットを用いて生じるあらゆる不利益も当方ではいっさい保証できませんので予めご了承ください。

仕様

動作環境: プリンターポートを持ったDOS/Vマシン(互換機を含む)+Windows9x

電源: DC16V～20V 200mA以上 2.1 センター+

対応PIC: 12C508/12C509/16F84(508/509は窓付も可)

その他: POWER LED、ACTIVE LED

(有) アール・アイ・エフ

〒648-0096

和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>

e-mail mail@rif-jp.com